

令和8年2月18日 記者会見資料
こども未来部 こども政策課

長野市こども計画について

- ・ 長野市の若者に関する計画(案)に対する市民意見等の募集
(パブリックコメント)結果 及び 計画(案)の決定について
- ・ 長野市子どもの貧困対策計画期間の延長について
- ・ 第三期長野市子ども・子育て支援事業計画の変更について

「長野市こども計画」は、

- ・ 第三期長野市子ども・子育て支援事業計画
- ・ 長野市子どもの貧困対策計画
- ・ 長野市の若者に関する計画

の三つの計画で構成されます💡



FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

1 長野市の若者に関する計画(案)に対する市民意見等の募集(パブリックコメント)結果 2
及び 計画(案)の決定について

市民意見等の募集(パブリックコメント)の実施概要

- ◆ 募集期間
令和7年11月21日(金)～12月22日(月)(32日間)
- ◆ 計画(案)の閲覧場所、意見・提案用紙の配布窓口
こども政策課、各支所、行政資料コーナー、ホームページ
- ◆ 提出方法
ながの電子申請サービス、郵送・FAX・メール(こども政策課)、持参(閲覧窓口)

市民意見等の募集(パブリックコメント)の実施結果

- ◆ 意見等提出者数 20人
(提出方法内訳:電子申請 10人、持参 0人、郵送 0人、ファクス 1人、Eメール 9人)
- ◆ 意見等の件数 47件
- ◆ 意見等に対する市の対応区分

対 応 区 分		件 数
1	計画(案)を修正する	4件
2	計画(案)に盛り込まれているため修正しない	1件
3	計画(案)を修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする	10件
4	検討の結果、計画(案)は修正しない	0件
5	その他(質問への回答、状況説明など)	32件
合計		47件

意見等の内容と市の考え方

【対応区分 1 計画(案)を修正する】 4件

ページ	意見等の内容	市の考え方
29	「若者(独身者)が」の表記について、アンケート調査で約6割が結婚の意向を示しているが、そうでない若者がいることも踏まえ、結婚の意向をもたない若者についても、希望をもって将来のライフデザインを描くことができるような形で支援をしてほしい。 「若者(独身者)」という表記は、若者＝独身である、あるいは結婚が前提のように受け取られる可能性があり、価値観の固定化や一部の若者の排除につながるおそれがある。誰もが希望をもって将来のライフデザインを描ける支援として位置づけ、一人ひとりを主語とした表現に改めるべきだと思う。	ライフスタイルが多様化しており、結婚についても、個人の選択を尊重する必要があると認識しております。「ライフデザイン形成支援」の説明においては、「(独身者)」の文言を削除することとします。
30	「結婚支援」というワードについて、人生における優先事項が多様化したことで、若者にとって結婚は選択肢の一つに過ぎなくなっていると感じている。結婚支援という言葉に違和感をもつ若者も多いかもしれない。	ライフスタイルが多様化しており、結婚についても、個人の選択を尊重する必要があると認識しております。取組名の「結婚支援」を「結婚を希望する若者への支援」に修正します。
37	包括的な体制整備の中で、現在、幅広い部局にまたがっている若者への支援の相談窓口をワンストップ化し、若者目線で相談先が分かりやすく相談しやすい体制の構築を求める。	こども総合支援センター「あのえっと」が相談窓口としてワンストップで対応しており、関係機関と連携が重要であることから、(1)関係機関との連携・包括的な体制整備の担当所属として「こども総合支援センター」を追記し、引き続き連携体制の強化に取り組んでまいります。

意見等の内容と市の考え方

【対応区分 2 計画(案)に盛り込まれているため修正しない】 1件

ページ	意見等の内容	市の考え方
27	基本理念(目指す姿)の説明について、若者が社会や地域の中で育まれる存在として描かれる側面が強く、若者自身が意思決定をする主体であり、権利をもつ存在であるという位置づけがやや弱く感じられる。そのため、若者を支援の対象としてだけでなく、自己決定や尊厳をもつ権利の主体として明確に位置づける視点を、理念の説明文の中でもより明確に補強すべきだと思う。	本計画に記載のとおり、計画の推進に当たっては、「若者の権利の保障と最善の利益」を基本的な視点とし、若者を権利の主体として認識し、その権利を保障し、若者の今とこれからの最善の利益を第一に考えて取り組むこととしております。

【対応区分 3 計画(案)を修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする】

10件のうち代表的なもの

ページ	意見等の内容	市の考え方
31	ながの若者スクエアふらっとを利用しやすいのは、市中心部在住・在勤・在学の方になると思う。長野市は市域が広いので、より多くの若者が地域に密着した活動ができるようにという観点から、例えば、複数の高校が立地する篠ノ井など、若者が集まり活動できる拠点が複数分散して存在することが望ましいと考える。	本市は広域にわたるため、複数の拠点があることで、多くの若者が気軽に参加できる機会が増える可能性があります。今後の施策については、各地域の特性や若者のニーズを踏まえつつ、どのように拠点を分散させるか、または既存の施設を活用する方法についても検討したいと考えております。引き続き、若者が積極的に参加できるような環境づくりを進めてまいります。
31	学生・若者の社会参画促進のためには、個別の活動の支援にとどまらず、学生・若者が自らが対象となる施策の方向性に対して意見を反映できる仕組みが必要だと思う。学生・若者が自らにとって必要な施策を主体的に考えて提案し、大人と対等な立場で議論し、実行できる仕組みの設置や、委員会等の委員への学生・若者の登用を進めてほしい。	若者の意見を施策へ反映することは重要と考えております。本計画について検討している社会福祉審議会児童福祉専門分科会の委員として大学生などの若い世代に参画いただいているほか、次期長野市総合計画策定に向けて設置した総合計画審議会作業部会には本市と連携協定を締結している高等教育機関の学生に参画いただいております。今後、そのほかの審議会等においても、若者を積極的に登用するよう働きかけるほか、様々な場面や機会に若者の意見を聞き、施策に反映していく方法について検討してまいります。

意見等の内容と市の考え方

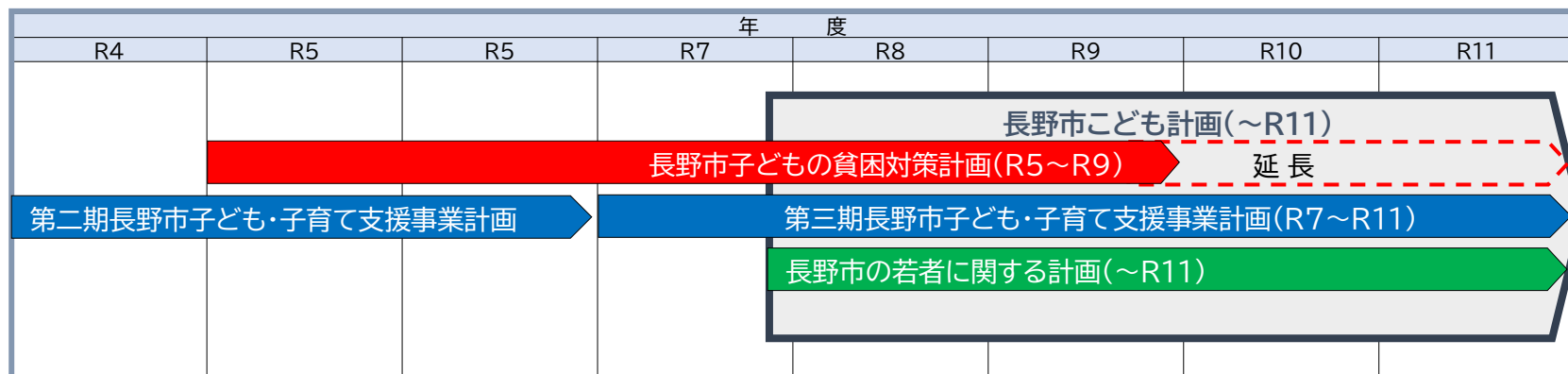
【対応区分 5 その他(質問への回答、状況説明など)】

32件のうち代表的なもの

ページ	意見等の内容	市の考え方
37	各事業がいろいろな課にひもづいていて、予算もそれぞれなので、課をまたいだ連携となるとよい。	若者への支援に取り組む関係機関と連携した包括的な体制を整備するとともに、それぞれの団体の取組状況や課題、ニーズについての情報を共有し、取組の強化につなげてまいります。
	若者に関する施策を進めるに当たっては、既存の施策や計画、関係機関との連携が重要と考える。	
37	行政文書は専門用語が多く、当事者が理解しづらい場合がある。制度や取組の内容を若者目線で分かりやすい言葉にした情報発信を重視すべきだと思う。	若者に必要な情報が届くよう、SNS等を活用するなど、引き続き、情報発信の方法を工夫してまいります。また、今後、若者当事者からの意見も取り入れながら、分かりやすい表現方法での情報発信に努めてまいります。
	支援を必要とする若者やその家族のみならず、広く若者が対象となる施策について知ることができるように、SNSを活用した積極的な情報発信をしてほしい。	

2 長野市子どもの貧困対策計画期間の延長について

子ども・子育て支援事業計画、子どもの貧困対策計画、若者に関する計画の三つの計画の終期を合わせるため、子どもの貧困対策計画の期間を令和9年度末から令和11年度末まで延長するもの



3 第三期長野市子ども・子育て支援事業計画の変更について

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う主な変更点

◆ 乳児等通園支援(こども誰でも通園制度)の給付制度創設

令和8年度からの本格実施に当たり、乳児等通園支援の量の見込み並びに提供体制の確保、教育・保育等を一体的に提供する体制に関する事項等が子ども・子育て支援事業計画の必須記載事項とされたことから、計画を変更するもの

◆ 保育士・保育所支援センターの法定化

保育人材確保策の強化を図るため、潜在保育士の掘り起こし、保育事業者とのマッチング支援などをするための拠点(保育士・保育所支援センター)としての機能を担う体制を整備する旨の規定が児童福祉法に設けられたことから、計画に追加するもの(都道府県は設置が必須、指定都市・中核市は努力義務)